令和８年１１月１日
第 547 号



鼻高公民館だより

発行：高崎市鼻高公民館　高崎市鼻高町 33-5　電話・FAX 322-9100
まなびネットたかさき HP　http://takasaki.manabi365.net/

《参加者募集》

＝地域伝統文化継承教室＝

しめ縄づくり教室

日本の伝統文化であるしめ縄飾りを作ります。新しい年を迎えるため、今年取れた稲藁を使い、玄関やドアに飾れるように現代風にアレンジしたものです。

【期日】令和８年12月10日（木）
【時間】午前９時～正午
【場所】鼻高公民館　２階講義室
【定員】10人（鼻高地区住民）
【費用】無料
【持ち物】ハサミ、汚れてもよい服装
【講師】地域指導者
戸塚　実さん
吉田好夫さん



【申込み】11月5日（木）、午前９時から鼻高公民館まで申込みください。

サークル会員募集

鼻高公民館を会場に学習や趣味を通じて仲間づくりをしているサークルがあります。会員数が減少し、ただ今、会員を募集しております。初心者大歓迎です。募集しているサークルは以下の通りです。一度、公民館に見学にきてみてください。

千草の会（俳句作り）
活動日：毎月第３月曜日
時間：９時～正午

手芸サークル（手芸の製作）
活動日：毎月第１・３月曜日
時間：13 時 30 分～15 時 30 分

フラハイビスカス（フラダンスの練習）
活動日：毎週水曜日
時間：13 時 30 分～15 時 30 分

ピンポンクラブ（卓球の練習）
活動日：毎週金曜日
時間：13 時～15 時 30 分

《事業報告》

はなだか花のまちづくり講座

生涯学習推進員主催

10月22日(木)、恒例の鼻高地区を花で飾る『はなだか花のまちづくり講座』が鼻高公民館駐車場で開かれました。花好きな人たちが集まり、レイアウトを考えながら花苗を植えていきました。（写真下）



歩け歩け大会＆芋煮会

10月18日（日）

鼻高スポーツ振興会主催の『歩け歩け大会』が秋晴れの下実施。展望花の丘まで歩きました。健康づくりにと、たくさんの人が参加。その後の芋煮会では鍋を囲み、会話が弾んでいました。





鼻高展望花の丘周辺を歩く（写真上）
芋煮会で懇親会（写真下）

裏面もごらんください。

わがまち鼻高 180

鼻高の四季

＝ 写真で綴る鼻高の宝 ㊾ ＝

高崎ゆかりの人　ＮＨＫ大河「逆賊の幕臣」

小栗上野介忠順を知る（１）



鼻高は眺望の良い所です。鼻高山頂から北・西方面を眺めると烏川・碓氷川・鏑川の流域が見渡せ、それに沿って烏の谷・碓氷の谷・甘楽の谷と呼ばれる地形が広がっています。この北西に位置する烏川の流域を目でたどってみますと、鼻高からはちょうど板鼻の天神山とそれに続く里見連山の陰に隠れてしまい直視はできませんが旧倉渕村権田（現・高崎市倉渕町権田水沼）があり、そこに幕末の功労者小栗上野介忠順（ただまさ）（以下、小栗公と称す）が上州への土着の夢むなしく斬首され烏川畔の露と消えた現場があり、慰霊碑が建っています。

今回はこの幕末の功労者であり近代日本の礎を築いたといえる小栗公の生涯をテーマとして取り上げ地域学習として皆さんと一緒に深読みしてみたいと思います。時あたかも、令和９年のＮＨＫの大河ドラマの主人公として「逆賊の幕臣」をテーマに取り上げられます。



鼻高展望花の丘より里見連山を望む。その左奥に烏川が流れ、小栗公が斬首された現場がある。

逆賊とありますが何に対して逆賊なのか解りません。また、世間の話として明治政府に逆らった者は、大河の主人公には成り得ない、取り上げられないという噂？がありますが、逆賊の幕臣として生誕２００年を期に人気俳優「松坂桃李」が主役を演じて放映されます。ドラマ化は倉渕の悲願であり、日本の近代化に大きな役割果たしながらも、近代教科書等ではほとんど取り扱われずゆがめられ、時代に埋もれさせられた小栗公の業績が広く理解される機会になるだろうと思います。

聞けば聞くほど魅力的な人物と云われますが、今回その視点がどうなるか？尊王攘夷の渦巻く幕末の混乱期の中、薩摩長州の勢力と対峙しながら如何に向き合い、日本国をどう導こうとしたのか？逆賊・敗者の側からとしてどんな風に扱われるのか、今から非常に興味を覚えるところです。

小栗上野介忠順の生い立ち

小栗公は旗本小栗忠高の長男として文政10年（１８２７）に江戸神田駿河台で産まれ、幼名を剛太郎といいました。

小栗家は、家康が今川家に人質として入る前からの徳川家の家臣で安祥（あんしょう）譜代といわれる由緒ある旗本でした。当主は代々「又一」と名乗っていましたが、これは先祖が槍の名人として武勇の誉高く数々の戦で功名を挙げ「また小栗が一番槍か」といわれたことにより、家康より愛用の槍を賜わって「これより又一と名乗れ」と命じられたことに起因するそうです。領地は上野、下野、上総、下総など７か所で総計２７００石程でした。最大のものは下野国足利郡高橋村（現・栃木県佐野市）の１３５４石であり、上野国群馬郡権田村３７５石でした。

群馬県内にはこの他、群馬郡下斉田村１７０石、多野郡森村や小林村に１５６石程ありました。ちなみにこの時代一万石以上が城持ちの大名と云われました。

この小栗公について時系列で整理しながらその活躍や人物像について次号以降深読みします。（次号に続く）